

令和7年度 獨協医科大学大学院看護学研究科博士前期課程入学試験(第2次募集)

【英語】 出題意図・解答例

問題 1

【出題意図】

本問題は、英語で書かれた医療・看護に関する専門的内容を正確に理解し、日本語で適切に表現する力を評価することを目的としている。特に、看護師の労働環境や職場文化、医療現場における課題といった社会的・倫理的テーマを扱う英文を通して、専門知識を背景にした読解力と、自然で正確な日本語訳作成能力を測るものである。加えて、医療英語特有の語彙や文構造を的確に処理し、意味内容を損なわずに訳出できるかどうかを評価する。

問 1

【解答例】

看護師たちは自分たちの給与水準について雇用主と交渉することもでき、その結果、他の看護職員も報復を恐れずに懸念を表明できるような職場文化を築くことができる。

問 2

【解答例】

その結果、既存の職員の業務量が増加し、燃え尽き症候群やその他の健康問題に直面するようになっている。看護師たちは、自分たちが直面している看護上の問題について雇用主と話し合い、十分な休息を取ることで、業務が長時間に及ぶ場合でも対応できるように備えることができる。

問題 2

【出題意図】

本問題は、受験者が医療分野の最新動向に関心を持ち、英語で自らの意見を簡潔にまとめる力を評価することを目的としている。特に、医療ニュースに関する情報を的確に理解し、50 語程度という制約の中で論理的かつ明瞭に要約・表現する能力を測るものである。また、看護学分野における課題意識の有無や、社会的・倫理的視点から医療問題を捉える姿勢も評価の対象とする。

【解答例】

One concerning issue in recent medical news is the shortage of nurses due to overwork and poor working conditions. Many nurses face burnout, which affects both their health and the quality of patient care. Hospitals must improve staffing, raise wages, and create supportive environments to ensure sustainable healthcare.

### 問題3

#### 【出題意図】

問題文は査読付き学術誌に掲載された国際的に働く日本人看護師の経験を扱った看護学研究の要約である。博士前期課程では、英語文献を読み、研究動向を把握し、自身の研究に活用する力が不可欠であるため、問題の背景、目的、方法、結果、結論といった研究論文の基本構造を正しく理解できるかを確認する意図がある。また、受験生がこの文章を読み解くことで、国内のみならず海外で働く看護職の働き方や専門職のキャリア形成など専門職として基礎的知識を確認するため。

#### 問1

##### 【解答例】

国際的に資格のある看護師は、オーストラリアに貴重な知識とスキルをもたらす。国際的に通用する看護師の特徴や出身国の文化の違いを理解することは、オーストラリアのような移民受け入れ国が彼らを医療制度に受け入れ、統合するのに役立つ。日本人看護師も例外ではない。多くの日本人看護師がオーストラリアに移住したにもかかわらず、彼らの経験やオーストラリアに滞在する理由についてはあまり探求されていない。

#### 問2

##### 【解答例】

本研究は、海外からオーストラリアに移住した日本人看護師が、なぜオーストラリアに滞在し、働き続けたのかを明らかにすることを目的としている。

#### 問3

##### 【解答例】

日本の看護師免許を持ち、オーストラリアで看護師として登録されている日本人看護師15名を対象

#### 問4

##### 【解答例】

テーマ別分析

#### 問5

##### 【解答例】

(1)罪悪感を感じずに休暇・休日を取得できること、(2)シフトを決めておくことでワークライフバランスが整う、(3)インセンティブが頑張るモチベーションにつながる、(4)看護師が安全で守ってくれる職場、(5)キャリア形成に前向きな環境、の5つのテーマが抽出された。

問6

【解答例】

日本の看護師は、オーストラリアの職場環境が彼らの職業が十分に保護され、高く評価されており、キャリアアップのチャンスが多いことに満足している。